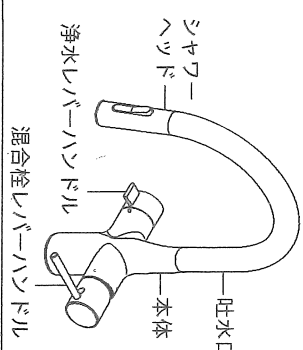


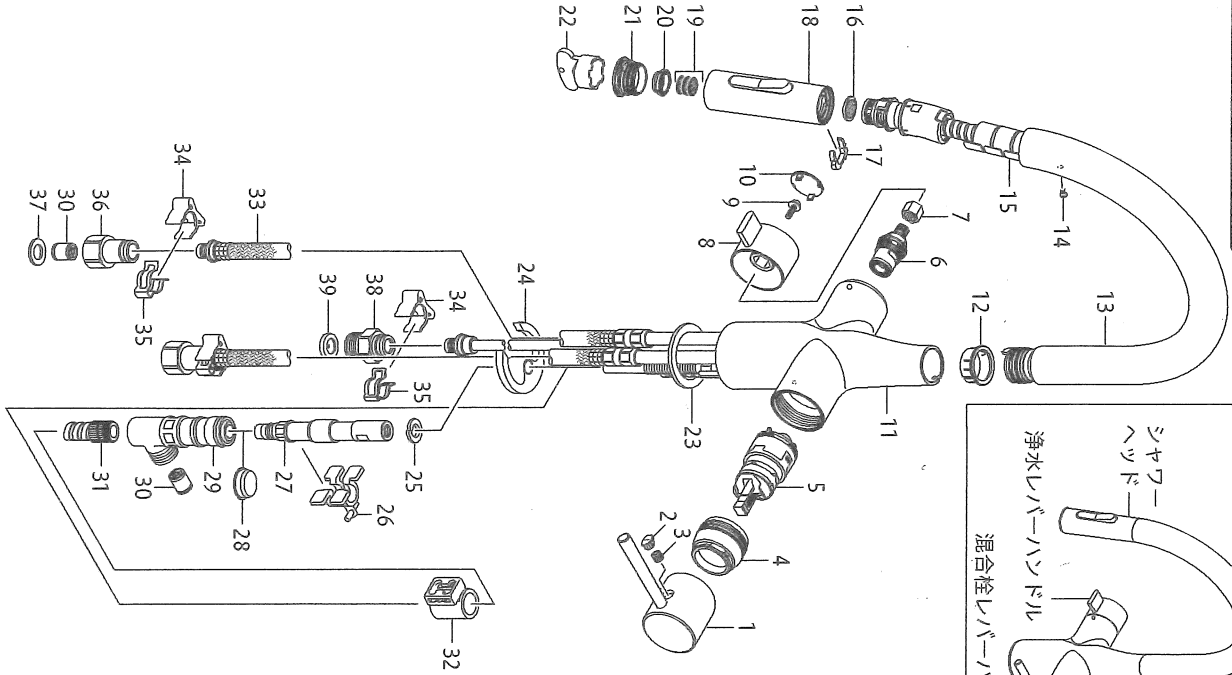
取り付け完成図と各部の名称 / 分解図

取り付け完成図と各部の名称



分解図
この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

1	混合栓レバーハンドル
2	キャップ
3	六角穴付き止めねじ
4	固定ナット
5	カートリッジ
6	カートリッジ
7	ハンドル金具
8	浄水レバーハンドル
9	ねじ
10	キャップ
11	本体
12	パイプスベアー
13	吐水口
14	小ねじ
15	ホースガイド
16	ストレーナ
17	クリップ
18	シャワーヘッド
19	ストレーナ
20	シャワーフエイス
21	整理フエイス
22	取りはずし工具
23	シートパッキン
24	馬蹄座金
25	ばね座金
26	ホースガイドA
27	フラグ
28	キャップ
29	カラークユニット
30	逆止弁
31	シャワーホース
32	ホースガイドB
33	フレッドホース
34	保護キャップ
35	クイックフラスター
36	ジョイント
37	パッキン
38	ジョイント
39	減圧ブッシュ

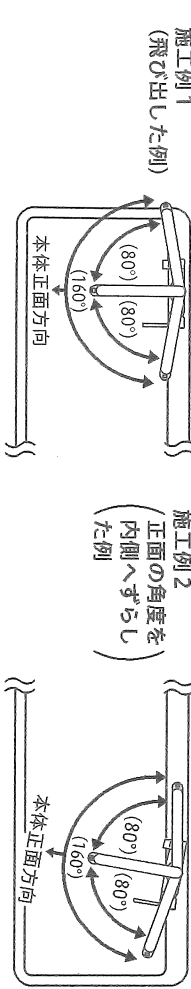


3 ページ

取り付け手順 2

3 本体の取り付け

取り付け位置によっては吐水口先端がシンクから飛び出す場合があります。(施工例1)
正面位置をシンク内側へずらして調整することは可能です。(施工例2)
位置調整は、フレッドホースが施工できる範囲で行ってください。

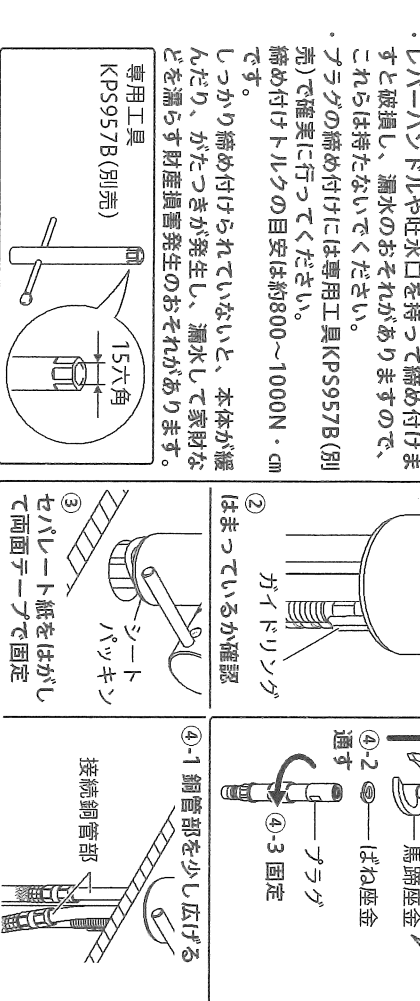


4 本体の固定

- ① 本体からフラグ、ばね座金、馬蹄座金を取りはずします。
- ② 本体にガイドリリングがはまっていることを確認してください。
- ③ 取り付け穴周囲の汚れを取り除いたあと、本体に貼り付けてあるシートパッキン下面のセパレート紙をはがし、混合栓レバーハンドルが右側にくるように本体を差し込みます。
- ④ フレッドホースの接続銅管部を少し広げ、給水管に平らな面を上に向けた馬蹄座金とばね座金を通して、フラグにて固定します。

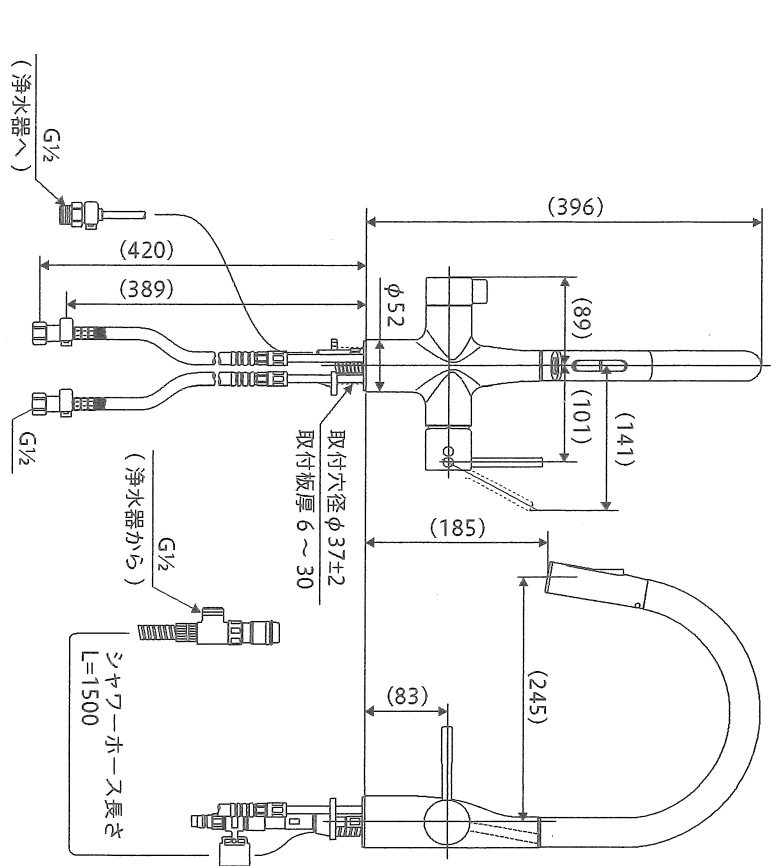
【△注意】

- ・厚さ30mmを超える取付板には取り付けられないでください。これよりも厚い板に取り付けた場合、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・セパレート紙は必ずはがしてください。
- ・セパレート紙をはがさず固定した場合、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・銅管部を曲げすぎないでください。曲げすぎると銅管部がつぶれて亀裂や破損を起こし漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・レバーハンドルや吐水口を持って締め付けますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。
- ・フラグの締め付けには専用工具KPS957B(別売)で確実に行ってください。
- ・締め付けトルクの目安は約800~1000N・cmです。



5 ページ

寸法図



取り付け手順 1

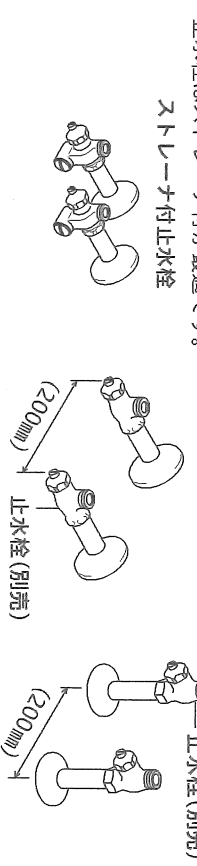
- 1 給水管内の清掃
配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

2 止水栓(別売)の取り付け

給湯管と給水管の間隔は200mmで取り付けます。
水受けタンクまたはトレーを設置する場合は、水受けタンクまたはトレーの寸法をご確認の上取り付けください。

止水栓はストレーナ付が最適です。

ストレーナ付止水栓



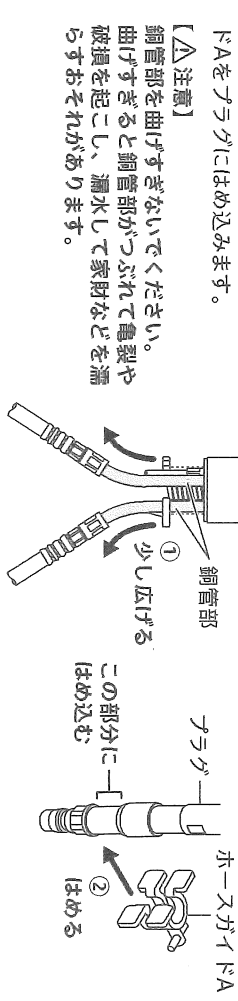
4 ページ

5 ホースガイドAの取り付け

銅管部を少し広げて同梱のホースガイドAをフラグにはめ込みます。

【△注意】

銅管部を曲げすぎないでください。
曲げすぎると銅管部がつぶれて亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。



6-1 止水栓との接続

- ① ジョイントを止水栓に接続します。

【△注意】

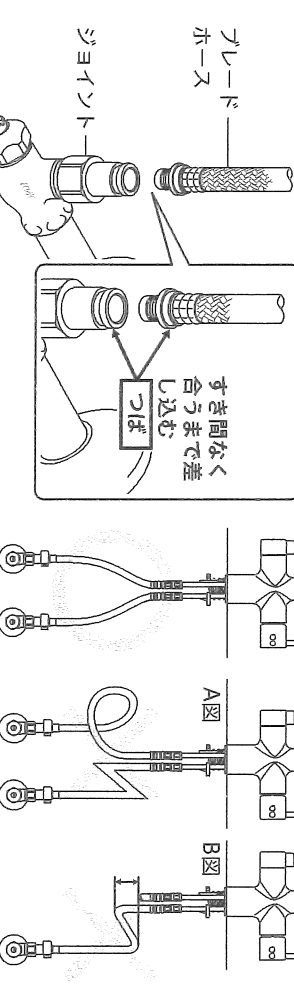
- ・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。
締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。
- ・締め付け不足や締め付け過ぎると、漏水の原因となります。
- ・薄肉の接続管(ニツル等)にはジョイントを接続しないでください。
- ・パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・止水栓がしっかりと固定されていることを確認してください。
- ・固定されていないとフレッドホースが抜け、漏水の原因となります。

- ② フレッドホースのつばとジョイントのつばがすき間なく合うまで差し込んでください。

【△注意】・フレッドホースはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。

- ・鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
- ・上下戻り配管はやめてください。(B図)
- ・ウオーターハンマーなどでフレッドホースが振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。
- ・フレッドホース同士などへの不要な接触は避けてください。
- ・摩擦による外傷で、ホース性能の劣化の可能性があります。

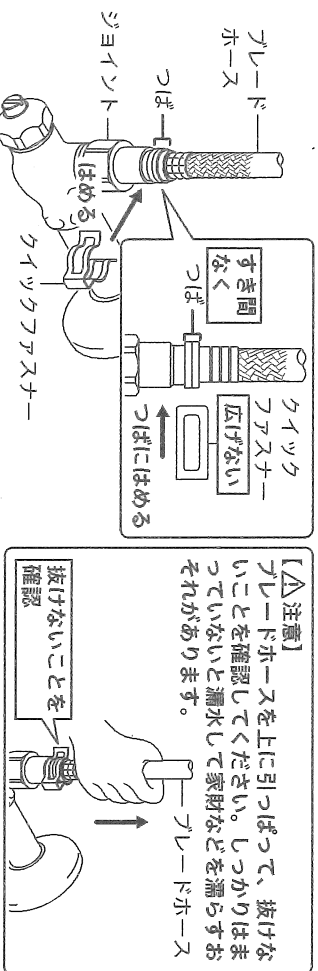
【お願い】フレッドホースは切断しないでください。



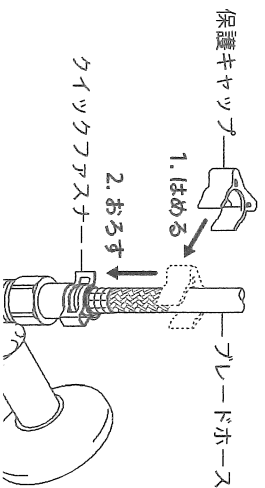
6 ページ

取り付け手順 3

③ クイックフラスナーをグレートホースとジョイントのつばにはめます。

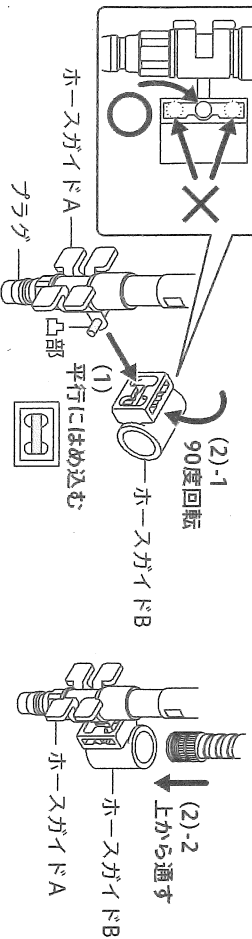


④ クイックフラスナーに保護キャップをはめます。
この時、保護キャップはグレートホースにはめてから、クイックフラスナーまでおろします。

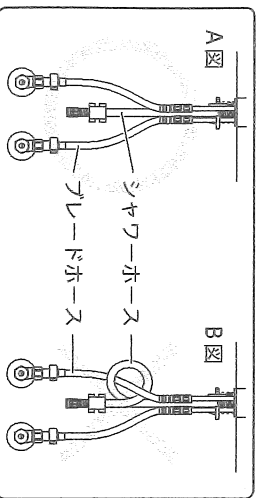


7¹ カプラーユニットの取り付け

① (1) 同梱のホースガイドBをホースガイドAの凸部と平行になるように、ホースガイドAにはめます。
(2) ホースガイドBを90度回転させ、シャワーホースを上から通します。



【△注意】固定した際、シャワーホースがA図のようにまっすぐ垂れ下がるようにしてください。B図のように、グレートホースに引っ掛けたり、ひねったりしないでください。シャワーホースが破損し漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



7 ページ

取り付け手順 4

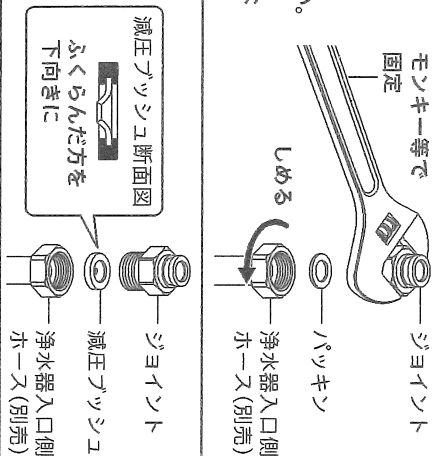
10 浄水器入口側ホース(別売)との接続

① ジョイントに浄水器入口側ホースを接続します。
その際、ジョイントをモンキー等で固定し締め付けてください。

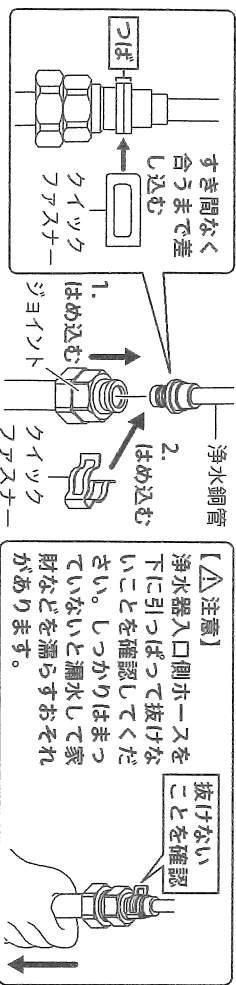
【△注意】接続は適切な工具(モンキー等)で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約1000N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎると、漏水の原因となります。

【給水圧が0.35MPa以上0.75MPa未満の場合】

浄水器入口側ホースとジョイントの間にあるパッキンの代わりに、減圧フッシユ(同梱品)を取り付けてください。



② ジョイントを浄水銅管にはめ込み、クイックフラスナーを浄水銅管とジョイントのつばにはめます。
浄水銅管のつばとジョイントのつばがすき間なく合うまで差し込んでください。



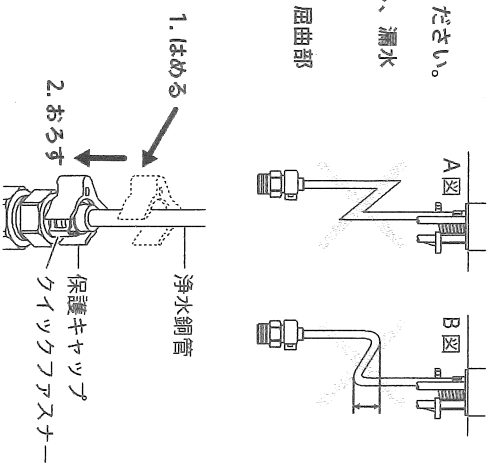
【△注意】浄水銅管はなるべくゆるやかに曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)

急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

・上下戻り配管はやめてください。(B図)
・ウォーターハンマーなどで浄水銅管が振動した際、屈曲部から水漏れ発生の原因となります。

・浄水銅管は切断しないでください。

③ クイックフラスナーに保護キャップをはめます。
この時、保護キャップは浄水銅管にはめてから、クイックフラスナーまでおろします。



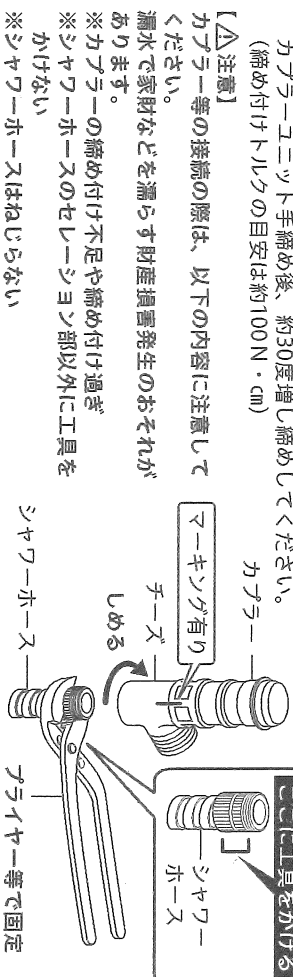
11 浄水器との接続

浄水器セットの施工説明書を参照してください。

9 ページ

7² チーズとカプラーの接続が緩んでいないか確認してください。(確認用の赤色マキング有り)

② 緩んでいる場合はカプラーを手締め後、約30度増し締めしてください。
(締め付けトルクの目安は約100N・cm)
カプラーユニットとシャワーホースを接続します。
カプラーユニットを手締め後、約30度増し締めしてください。
(締め付けトルクの目安は約100N・cm)



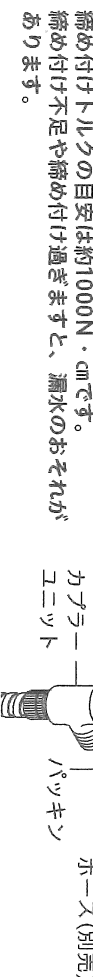
※カプラーの締め付け不足や締め付け過ぎ
※シャワーホースのセレーン部以外に工具を
かけない
※シャワーホースはねじらない

セレーン部
に工具をかける

8 浄水器出口側ホース(別売)との接続

カプラーユニットに浄水器出口側ホースを接続します。

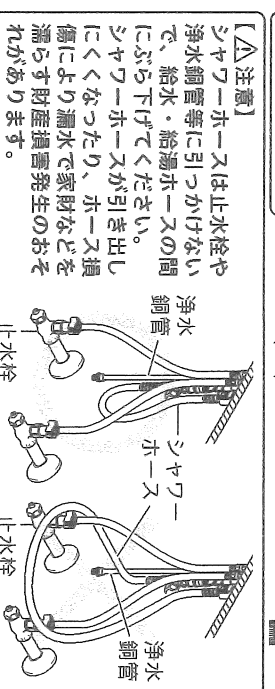
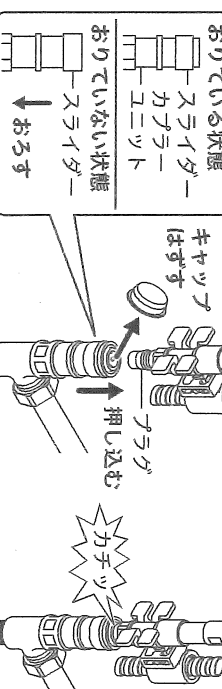
【△注意】接続は適切な工具(モンキー等)で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約1000N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎると、漏水のおそれがあります。



9 シャワーホースの接続

カプラーユニットのキャップをはずし、スライダーを下におろしてから、本体のプラグハカチツと音がするまで押し込みます。(スライダーがすでにおりている場合もあります。)

取り付け後、カプラーユニットを引っばってはずれないことを確認します。



【△注意】カプラーユニット取り付け後、確実に接続されているか、以下の確認を行ってください。
・確実に接続されているか、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
・スライダーが上がっていること
・カプラーユニットを真下に引っばってはずれないこと
・カプラーユニットはカプラーユニット
はずれないこと

8 ページ

取り付け後の点検と清掃

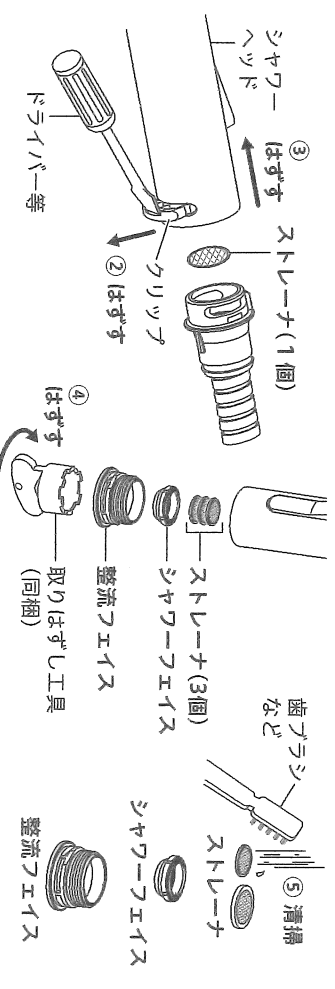
通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。
確認しないと、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

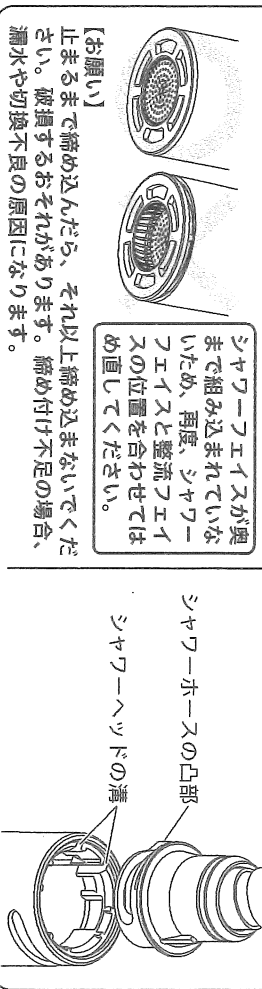
シャワーフェイス・ストレーナ清掃のお願い

シャワーヘッドのシャワーフェイス・整流フェイス・ストレーナにゴミ等がたまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

- ① 湯水全開で20～30秒吐水させます。
- ② ブライパー等でクリップをはずします。
- ③ シャワーヘッドをはずし、ストレーナ(1個)を取りはずします。
- ④ 同梱の工具で整流フェイスをはずして、シャワーフェイス・ストレーナ(3個)を取りはずします。
- ⑤ シャワーフェイス・整流フェイス・ストレーナをブラシで水洗いします。



【お困り】シャワーフェイスが奥まで組み込まれていないため、再度、シャワーフェイスと整流フェイスの位置を合わせてはめ直してください。



止水栓による流量の調節方法

止水栓による流量の調節方法は下記の方法で行ってください。
混合栓レバーハンドルのクリップ手前で適量(湯側・水側それぞれが5L/min程度)になるように止水弁で調節します。水圧が低く、クリップ手前で適量が得られない場合は、止水弁を全開にしてください。

取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

10 ページ

40A569-01